

第4節 結核・感染症対策

1 結核予防

(1) 結核罹患状況

わが国の結核状況は、新登録患者数が年々減少しているものの、依然としてわが国最大の感染症の一つであり、世界的にも結核の中まん延国と位置付けられている。

平成24年の管内の新登録患者数(表1)は22人で、昨年より17人減少し、罹患率も9.5と昨年(16.7)より低下した。感染の危険性が高い喀痰塗抹陽性肺結核患者数は9人で昨年より7人減少し、喀痰塗抹陽性肺結核罹患率も3.9と昨年の6.8より低下したが、新登録患者に占める割合は、41.0%から40.9%と横ばいであった。

新登録患者の年齢階層別では(表3-1)では70歳以上が18人と全体の81.8%を占め、性別でみると(表3-2)男性が11人で罹患率が9.8、女性が11人で罹患率が

9.1と差はほとんどなかった。新登録患者の発見方法別内訳(表3-3)では、医療機関受診が20人で全体の90.9%を占め、その他定期健康診断が2人(9.1%)、接触者健康診断が0人(0.0%)であった。潜在性結核感染症に該当する者の届出は(表3-3)8人で、昨年(37人)に比して急激な減少となった。発見方法別でみると、接触者健康診断で7人となっており全体の87.5%を占めている。

平成24年12月末における管内での登録者数(表2)は75人で昨年より8人減少し、登録率は32.2で、石川県(30.8)を上回っている。活動性結核患者は22人で昨年より5人少なくなっており、有病率は9.5で昨年(11.5)より低下した。

表1 新登録結核患者数、罹患率の年次推移(単位、患者数：人、罹患率：人口10万対)

		H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
南加賀管内	新登録結核患者数	41	37	52	39	22
	全結核罹患率 罹患率	17.3	15.7	22.1	16.7	9.5
	菌喀痰塗抹陽性肺結核患者数	12	11	22	16	9
	喀痰塗抹陽性肺結核 罹患率	5.1	4.7	9.4	6.8	3.9
	新登録結核患者に占める割合	29.3%	29.7%	42.3%	41.0%	40.9%
石川県	新登録結核患者数	170	171	192	190	161
	全結核罹患率 罹患率	14.5	14.6	16.4	16.3	13.8
	菌喀痰塗抹陽性肺結核患者数	63	76	67	76	64
	喀痰塗抹陽性肺結核 罹患率	5.4	6.5	5.7	6.5	5.5
	新登録結核患者に占める割合	37.1%	44.4%	34.9%	40.0%	39.8%
全国	新登録結核患者数	24,760	24,106	23,261	22,681	21,111
	全結核罹患率 罹患率	19.4	18.9	18.2	17.7	16.6
	菌喀痰塗抹陽性肺結核患者数	9,809	9,675	9,019	8,654	8,045
	喀痰塗抹陽性肺結核 罹患率	7.7	7.6	7.0	6.8	6.3
	新登録結核患者に占める割合	39.6%	40.0%	38.8%	38.2%	38.1%

表2 結核登録者数・登録率、有病者数・有病率の年次推移(単位：人、平成24年12月31日)

		H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
南加賀管内	結核登録者数	83	82	81	83	75
	登録率(人口10万対)	35.0	34.8	34.5	35.5	32.2
	活動性結核患者数	25	25	31	27	22
	有病率(人口10万対)	10.5	10.6	13.2	11.5	9.5
石川県	結核登録者数	374	359	350	371	358
	登録率(人口10万対)	32.0	31.2	29.9	31.8	30.8
	活動性結核患者数	117	127	132	131	134
	有病率(人口10万対)	10.0	10.9	11.3	11.2	11.5
全国	結核登録者数	62,244	59,518	55,573	55,196	52,085
	登録率(人口10万対)	48.7	46.7	43.4	43.2	40.8
	活動性結核患者数	20,021	18,915	17,927	17,264	14,751
	有病率(人口10万対)	15.7	14.9	14.0	13.5	11.6

表 3-1 新登録患者数（活動性分類・年齢階級別）（単位：人）（平成 24 年 1 月 1 日～平成 24 年 12 月 31 日）

	新登録患者総数	活動性結核							罹患率 (人口 10 万対)	潜在性結核感染症(別掲)治療中
		総数	肺結核活動性				肺外結核活動性			
			総数	登録時喀痰塗抹陽性		その他の結核菌陽性		菌陰性その他		
			総数	初回治療	再治療					
総数	22	14	9	8	1	5	0	8	9.5	8
年齢階級別	0～4	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
	5～9	0	0	0	0	0	0	0	0.0	1
	10～14	0	0	0	0	0	0	0	0.0	1
	15～19	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
	20～29	0	0	0	0	0	0	0	0.0	2
	30～39	2	1	1	1	0	0	0	6.6	1
	40～49	0	0	0	0	0	0	0	0.0	1
	50～59	0	0	0	0	0	0	0	0.0	1
	60～69	2	2	1	1	0	1	0	5.6	1
	70～79	7	3	1	1	0	2	0	28.2	0
80～89	8	5	4	3	1	1	0	54.8	0	
90 以上	3	3	2	2	0	1	0	85.2	0	
40 歳以上の比率	90.9%	92.9%	88.9%	87.5%	100.0%	100.0%		87.5%		37.5%
70 歳以上の比率	81.8%	78.6%	77.8%	75.0%	100.0%	80.0%		87.5%		0.0%

表 3-2 新登録患者数（活動性分類・性別・市町別）（単位：人）（平成 24 年 1 月 1 日～平成 24 年 12 月 31 日）

	新登録患者総数	活動性結核							罹患率 (人口 10 万対)	潜在性結核感染症(別掲)治療中	
		総数	肺結核活動性				肺外結核活動性				
			総数	登録時喀痰塗抹陽性		その他の結核菌陽性		菌陰性その他			
			総数	初回治療	再治療						
総数	22	14	9	8	1	5	0	8	9.5	8	
性別	男	11	8	4	4	0	4	0	3	9.8	4
	女	11	6	5	4	1	1	0	5	9.1	4
市町別	小松市	12	8	6	5	1	2	0	4	11.2	4
	加賀市	7	4	2	2	0	2	0	3	10.0	4
	能美市	2	1	1	1	0	0	0	1	4.1	0
	川北町	1	1	0	0	0	1	0	0	16.0	0

表 3-3 新登録患者数（発見方法別）（単位：人）（平成 24 年 1 月 1 日～平成 24 年 12 月 31 日）

	新登録患者総数	活動性結核							構成比 (%)	潜在性結核感染症(別掲)治療中
		総数	肺結核活動性				肺外結核活動性			
			総数	喀痰塗抹陽性		その他の結核菌陽性		菌陰性その他		
			総数	初回治療	再治療					
総数	22	14	9	8	1	5	0	8	100.0%	8
健康診断	2	2	1	1	0	1	0	0	9.1%	8
定期健康診断	2	2	1	1	0	1	0	0	9.1%	1
学校健診	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0
住民健診	2	2	1	1	0	1	0	0	9.1%	0
職場健診	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	1
施設健診	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0
接触者健康診断	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	7
家族健診	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	5
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	2
医療機関受診	20	12	8	7	1	4	0	8	90.9%	0
受診	11	7	4	3	1	3	0	4	50.0%	0
他疾患入院中	4	4	3	3	0	1	0	0	18.2%	0
他疾患通院中	5	1	1	1	0	0	0	4	22.7%	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0

表 4-1 結核登録者数（活動性分類・年齢階級別）（単位：人）

（平成 24 年 12 月 31 日）

	登録者 総数	総数	活動性結核						肺外 結核 活動性	不活動 性結核	活動性 不明	潜在性 結核 感染症 (別掲)	
			総数	肺結核活動性			登録時 他の 結核 菌陽性	登録時 菌陰性 その他				治療 中	観察 中
				総数	初回 治療	再 治療							
総数	75	22	13	10	9	1	3	0	9	52	1	10	38
年齢階級別	0～4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	5～9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	10～14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	15～19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20～29	4	0	0	0	0	0	0	0	4	0	2	3
	30～39	3	2	1	1	1	0	0	0	1	1	1	9
	40～49	5	0	0	0	0	0	0	0	5	0	3	14
	50～59	5	1	1	1	1	0	0	0	4	0	1	6
	60～69	9	3	2	1	1	0	1	0	1	6	1	3
	70～79	14	8	4	2	2	0	2	0	4	6	0	0
	80～89	25	6	3	3	2	1	0	0	3	18	1	0
90以上	10	2	2	2	2	0	0	0	0	8	0	0	
40歳以上の比率	90.7%	90.9%	92.3%	90.0%	88.9%	100.0%	100.0%	-	88.9%	90.4%	100.0%	50.0%	60.5%
70歳以上の比率	65.3%	72.7%	69.2%	70.0%	66.7%	100.0%	66.7%	-	77.8%	61.5%	100.0%	0.0%	0.0%

表 4-2 結核登録者数（活動性分類・性別・市町別）（単位：人）

（平成 24 年 12 月 31 日）

	登録者 総数	総数	活動性結核						肺外 結核 活動性	不活動 性結核	活動性 不明	潜在性 結核 感染症 (別掲)		
			総数	肺結核活動性			登録時 他の 結核 菌陽性	登録時 菌陰性 その他				治療 中	観察 中	
				総数	初回 治療	再 治療								
														登録時 喀痰塗 抹陽性
総数	75	22	13	10	9	1	3	0	9	52	1	10	38	
性別	男	38	12	8	5	4	1	3	0	4	26	0	4	9
	女	37	10	5	5	5	0	0	0	5	26	1	6	29
市町別	小松市	36	12	7	6	6	0	1	0	5	24	0	5	24
	加賀市	22	7	4	3	2	1	1	0	3	15	0	5	11
	能美市	14	2	1	1	1	0	0	0	1	11	1	0	3
	川北町	3	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0

表 5 結核死亡数及び死亡率の年次推移（単位、死亡数：人、死亡率：人口 10 万対）

		H20 年	H21 年	H22 年	H23 年	H24 年
南加賀管内	死亡数	2	4	8	0	1
	死亡率	0.9	1.7	3.4		0.4
石川県	死亡数	9	19	19	15	9
	死亡率	0.8	1.6	1.6	1.3	0.8
全 国	死亡数	2,220	2,159	2,126	2,162	1,522
	死亡率	1.8	1.7	1.7	1.7	1.2

(2) 結核患者管理状況

保健所では感染症法に基づき結核患者及び結核回復者について登録管理をしている（表6）。

登録中の患者に対しては、保健師等の家庭訪問により患者の治療支援や相談、積極的疫学調査や接触者健康診断の連絡調整などで面接や相談を実施している（表7）。治療終了者や治療中断者に対して、再

発の有無の検査として精密検査（管理検診）を実施している（表8）。

さらに、市町や学校長、施設長や事業者等に対する結核定期健康診断の把握（表9）を通して、実施徹底にかかる指導を行い、結核患者の家族及び接触者に対しては接触者健康診断を実施している（表10）。

表6 結核登録状況（単位：人）（平成24年1月1日～平成24年12月31日）

	前年末総数 (A)	本年中登録			本年中抹消					本年末総数 (A+B-C)
		新規	転入	計 (B)	死亡	治ゆ 観察不要	転出	その他	計 (C)	
合計	125	30	3	33	8	22	0	5	35	123
結核患者	83	22	2	24	8	20	0	4	32	75
潜在性結核感染症	42	8	1	9	0	2	0	1	3	48

表7 保健指導実施状況（単位：件数）平成24年度

訪問		来所相談		電話相談	
実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
59	259	21	164		1,712

表8 管理検診実施状況（単位：人）平成24年度

対象者 (A)	保健所	受診者数						検診結果			
		委託医療機関		定期 病状 報告	他の医 療機関 等	計 (B)	受診率 (B/A)%	要医療	要観察	観察 不要	
		内訳									
		直接 撮影	喀痰								
157	0	59	59	8	90	8	157	100.0%	1	136	20

表9 結核定期健康診断・予防接種の状況 平成24年度

	対象者数	受診者数					検診結果	
		受診者数	受診率%	検査内容			患者発見数	発病の恐れ のある者
				BCG接種	間接撮影	直接撮影		
合計	73,595	29,338	39.9%	1,927	18,255	9,156	2	0
事業主	11,308	10,358	91.6%		3,833	6,525	1	0
学校長	2,914	2,879	98.8%		1,713	1,166	0	0
施設長	2,026	1,951	96.3%		669	1,282	0	0
市町長	57,347	14,150	24.7%	1,927	12,040	183	1	0
一般住民	55,360	12,223	22.1%		12,040	183	1	0
乳幼児	1,987	1,927	97.0%	1,927			0	0

表10 接触者健康診断実施状況（単位：人）平成24年度

	対象者 (A)	受診者数										検診結果			
		保健所実施 内訳	委託医療機関実施分						集団健診分 内訳	その他実 施分	計 (B)	受診 率 (B/A) %	発見 患者 数	発病 の恐 れ ある 者	
			内訳				QFT	直接 撮影							QFT
			ツ反	直接 撮影	喀痰	QFT									
合計	313	85	85	168	10	156	0	5	47	47		300	95.8%	0	5
患者家族	110	25	25	84	10	72	0	5	0	0		109	99.1%	0	3
その他	203	60	60	84	0	84	0	0	47	47		191	94.1%	0	2

事業者 研修会	<p>対 象：外国人雇用事業主及び健康管理担当者 実施日：平成 24 年 6 月 11 日（月）午後 参加者 27 名 平成 24 年 6 月 26 日（火）午後 参加者 22 名 平成 24 年 6 月 27 日（水）午前 参加者 62 名 同 上 午後 参加者 54 名</p> <p>内 容：(外国人)労働者の健康管理 ・外国人結核患者の発病推移と発見過程の現状 ・職場における感染症発防止のための健康管理 ・日常生活上の健康管理と疾病の早期受診について 講師 保健所職員</p>
結核対策 研修会	<p>対 象：医療機関等における医師及び医療従事者 実施日：平成 24 年 11 月 27 日（火）19：00～21：00 会 場：加賀市民病院 内 容：結核対策研修会（医師等研修会） 1) 講話「南加賀保健所管内の結核」 2) 講演「結核の現状と早期診断について」 講師（公財）結核予防会結核研究所臨床・疫学部部長 伊藤 邦彦 医師 3) 意見交換 参加者：114 名</p>
治療成功 のための 支援事業	<p>○ コホート検討会：診査会終了後に開催 実施日：平成24年 7月25日（水） 10件 平成24年11月28日（水） 4件 平成25年 2月13日（水） 5件 内 容：菌陽性肺結核患者の治療成績の判定および評価 検討対象：肺結核新登録患者（菌陽性）の内、治療終了者 参 加 者：感染症診査協議会委員、保健所長、保健所担当者</p> <p>○ DOTSカンファレンス（11回開催、11件） 実施日：4/23(1件)、5/2(1件)、5/9(1件)、5/16(1件)、7/5(1件)、7/31(1件)、 10/16(1件)、12/6(1件)、12/6(1件)、12/13(1件)、1/24(1件) 会 場：小松市民病院、やわたメディカルセンター、山中温泉医療センター 久藤総合病院、あたかの郷、第二松寿園、 対 象：塗抹陽性肺結核患者及び主治医が服薬支援を必要と認めた患者 （退院時に病棟から連絡）（転院時に保健所から連絡） 参加者：病院主治医、担当看護師、薬剤師、その他関係者、保健所保健師</p>

2 感染症予防

(1) 感染症発生状況

感染症発生動向調査

感染症の蔓延を防止するため、医療機関の協力のもと、患者の発生状況や病原体検出結果等の流行実態を早期かつ的確に把握し、情報を速やかに地域に還元することにより、有効かつ適切な予防対策の確立に資することを目的として、通年実施している。

感染症予防相談状況では、延べ 4,117 件の相談に対応しており、感染症分類別では、結核が最も多く、ついで感染性胃腸炎(ノロ

ウイルス含む)、インフルエンザ(H1N1 含む)の順となっている。

特に、ノロウイルスやインフルエンザについては、保育園や高齢者施設などの社会福祉施設からの集団発生に対する相談が多く寄せられた。施設への早期訪問により、施設調査や消毒指導を行うことで、施設職員への二次感染防止のための指導を行った。

表 11-1 感染症発生状況（全数把握）

		H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
一類（全7疾患）		0	0	0	0	0
二類（全5疾患）	結核（潜在性結核感染症含む）	43	41	55	76	30
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ	0	0	0	0	0
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0
	ジフテリア	0	0	0	0	0
三類（全5疾患）	腸管出血性大腸菌感染症	18	30	7	29	2
	コレラ	0	0	0	0	0
	細菌性赤痢	1	0	0	0	0
	腸チフス	0	0	0	1	0
	パラチフス	0	0	0	0	0
四類（全42疾患）	A型肝炎	0	0	1	0	0
	つつが虫病	1	0	2	2	3
	レジオネラ症	1	2	6	2	6
五類（全16疾患）	アメーバ赤痢	0	2	0	1	1
	後天性免疫不全症候群	1	0	0	0	0
	梅毒	0	1	2	0	0
	破傷風	1	0	0	0	0
	風疹	0	0	0	1	0
	ウイルス性肝炎	0	0	0	0	1
	急性脳炎	0	0	0	0	1
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	1

(感染症発生動向調査より)

表 11-2 感染症予防相談状況 (延件数)

平成24年度

		訪問相談		来所相談		電話相談	
		実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
感染症総数		163	398	246	604	16	3115
(内訳)	一類感染症	0	0	0	0	0	0
	二類感染症 (結核)	59	259	21	164	/	1712
	三類感染症	2	8	1	3	2	24
	(内訳) 腸管出血性大腸菌感染症	2	8	1	3	2	24
	四類感染症	9	26	1	1	10	78
	五類感染症	1	2	1	1	4	37
	その他	92	103	222	435	/	1264
	(内訳) 感染性胃腸炎(ノロウイルス含む)	/	30	/	3	/	382
	インフルエンザ(H1N1含む)	/	6	/	1	/	350
	予防接種	/	0	/	2	/	16
上記以外	/	67	/	429	/	516	

表12-3 感染症発生動向調査月別患者報告数

平成24年 (単位:人)

定点	疾患名	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
インフルエンザ		管内	846	1,243	947	344	40	0	4	3	3	0	0	20	3,450
		県内	3,830	8,351	3,881	1,079	125	8	5	4	3	6	1	49	17,342
小児科	RSウイルス感染症	管内	4	2	5	6	4	5	3	5	135	63	28	13	273
		県内	37	18	27	30	13	16	9	34	301	224	125	76	910
	咽頭結膜熱	管内	9	13	12	17	10	24	4	4	4	3	5	16	121
		県内	21	43	47	47	43	115	43	42	18	10	38	47	514
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	管内	94	91	94	85	75	101	59	35	40	35	99	134	942
		県内	395	451	498	350	296	411	156	121	144	170	312	441	3,745
	感染性胃腸炎	管内	267	237	229	265	243	168	106	140	119	143	413	312	2,642
		県内	1,126	900	1,100	1,122	1,161	894	367	418	413	783	1,994	1,660	11,938
	水痘	管内	53	32	23	14	13	16	8	9	22	4	12	24	230
		県内	336	222	241	182	164	154	62	58	58	38	107	130	1,752
	手足口病	管内	42	24	15	8	1	8	39	39	14	11	6	7	214
		県内	164	63	61	61	28	61	76	153	241	141	94	140	1,283
	伝染性紅斑	管内	1	0	0	0	1	4	1	1	0	1	0	0	9
		県内	7	8	15	15	25	15	3	4	9	7	4	3	115
	突発性発疹	管内	8	6	10	10	6	13	8	15	12	14	12	8	122
		県内	57	31	58	60	46	65	62	68	74	67	47	40	675
百日咳	管内	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	3	
	県内	1	1	3	0	2	2	3	1	2	0	0	0	15	
ヘルパンギーナ	管内	0	0	0	0	0	1	40	53	18	3	2	1	118	
	県内	3	0	1	0	5	70	405	319	69	15	4	2	893	
流行性耳下腺炎	管内	0	3	7	2	4	1	0	1	2	6	12	8	46	
	県内	27	29	50	21	40	36	43	22	31	29	29	24	381	
眼科	急性出血性結膜炎	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		県内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	流行性角結膜炎	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		県内	0	1	1	5	4	5	2	8	6	1	2	3	38
基幹	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		県内	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	3
	無菌性髄膜炎	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		県内	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	3
マイコプラズマ肺炎	管内	8	12	14	16	20	17	12	8	8	8	9	16	148	
	県内	14	22	34	25	32	43	30	29	24	17	26	37	333	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
STD	性器クラミジア感染症	管内	0	3	0	2	1	2	0	0	0	2	0	0	10
		県内	17	19	25	23	30	29	31	22	27	26	17	24	290
	性器ヘルペスウイルス感染症	管内	2	1	0	1	2	0	1	1	2	0	1	1	12
		県内	10	5	5	9	10	8	10	9	5	6	4	8	89
尖形コンジローム	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
	県内	2	4	0	5	7	2	3	5	3	7	3	0	41	
淋菌感染症	管内	1	2	0	2	0	0	1	0	0	0	0	1	7	
	県内	8	11	8	9	11	8	10	7	6	11	9	13	111	
基幹	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	管内	1	2	0	3	2	1	6	4	8	8	10	6	51
		県内	14	23	25	23	25	9	19	22	19	20	32	13	244
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		県内	1	0	1	0	0	0	1	2	0	2	0	0	7
薬剤耐性緑膿菌感染症	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

表13 感染症発生動向調査月別患者報告数(月報)

平成24年 (単位:人)

定点	疾患名	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
STD	性器クラミジア感染症	管内	0	3	0	2	1	2	0	0	0	2	0	0	10
		県内	17	19	25	23	30	29	31	22	27	26	17	24	290
	性器ヘルペスウイルス感染症	管内	2	1	0	1	2	0	1	1	2	0	1	1	12
		県内	10	5	5	9	10	8	10	9	5	6	4	8	89
	尖形コンジローム	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
		県内	2	4	0	5	7	2	3	5	3	7	3	0	41
淋菌感染症	管内	1	2	0	2	0	0	1	0	0	0	0	1	7	
	県内	8	11	8	9	11	8	10	7	6	11	9	13	111	
基幹	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	管内	1	2	0	3	2	1	6	4	8	8	10	6	51
		県内	14	23	25	23	25	9	19	22	19	20	32	13	244
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		県内	1	0	1	0	0	0	1	2	0	2	0	0	7
	薬剤耐性緑膿菌感染症	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		県内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) インフルエンザ様集団かぜ発生状況

(表14-1)、(表14-2)

平成24年度冬期の発生状況として、25年1月15日に能美市立福岡小学校で集団発生があり、ウイルスサーベイランスの結果からは香港A型インフルエンザが優勢であった。

また、3月以降はB型が、増え始めたが、集団発生としては4月17日の小松市の特別支援学校の報告が最後であった。

表14-1 市町別インフルエンザ様集団かぜ発生状況(平成24年度)

区分	石川県	管内計	小松市	加賀市	能美市	川北町
施設数		104	54	34	12	4
発生施設数	122	19	11	5	2	1
在籍数(人)	5,235	839	467	267	83	22
患者数(人)	2,211	397	197	154	40	6
措置状況	休校	3	0	0	0	0
	学年閉鎖	54	7	4	2	0
	学級閉鎖	65	12	7	3	1

注: 在籍者及び患者数は、措置を取ったクラス等の初発報告の累計
注: 同一施設で措置が変更した場合は、休校・学年閉鎖・学級閉鎖・授業打ち切りの措置規模の大きい方をカウントしてある。

表14-2 感染症発生動向調査 月別患者報告数(平成24年)

定点	疾患名	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
インフルエンザ		管内	846	1,243	947	344	40	0	4	3	3	0	0	20	3,450
		県内	3,830	8,351	3,881	1,079	125	8	5	4	3	6	1	49	17,342

(3) エイズ相談状況 (表 15-1) (表 15-2)

エイズに対する正しい知識の普及及び感染者の早期発見・早期治療を目的に、エイズ相談窓口を設け、検査を希望する場合は HIV 抗体検査を実施している。平成 17 年 12 月からエイズ予防対策をより一層推進するため、HIV 迅速検査免疫クロマト法を導入した。平成 21 年度は受検者の利便性を考慮し、午前中及び夜間の検査について、予約

なしで迅速検査を行った。平成 22 年 3 月からは、午前中のみ迅速検査を行い、夜間は P A 法とし、全て予約制とした。

HIV 検査普及週間及び世界エイズデーでは、若者の受検者の増加を図るため、カラオケ店やコンビニエンスストア等に検査日時の記入されたポケットティッシュを配布し、普及啓発を行った。

表 15-1 エイズ相談実施状況

平成 24 年度 (単位: 件)

	相談件数			相談内容				相談方法		
	男	女	計	相談のみ	病院紹介	検査依頼	計	来所	電話	計
昼間	149	51	200	63	2	135	200	143	57	200
夜間	25	12	37	1	0	36	37	37	0	37
合計	174	63	237	64	2	171	237	180	57	237

表 15-2 HIV 抗体検査実施状況

平成 24 年度 (単位: 件)

	受検者数			陽性者数			(再掲) 迅速法による検査		
	男	女	計	男	女	計	受検者	要追加検査数	陽性者数
10 歳代	0	2	2	0	0	0	2	0	0
20 歳代	36	24	60	0	0	0	44	0	0
30 歳代	57	18	75	0	0	0	53	0	0
40 歳代	18	3	21	0	0	0	17	0	0
50 歳以上	10	1	11	0	0	0	3	0	0
合計	121	48	169	0	0	0	119	0	0
(再掲)夜間	24	12	36	0	0	0	3	0	0

(4) 性感染症相談状況 (表 16-1) (表 16-2)

性感染症に対する正しい知識の普及及び感染者の早期発見・早期治療を目的に、性感染症相談窓

口を設け、検査を希望する場合は、クラミジア及び梅毒検査を実施している。

表 16-1 性感染症相談検査実施状況

平成 24 年度 (単位: 件)

区分	相談件数	梅毒血液検査				性器クラミジア感染症血液検査				
		計	陽性	陰性	判定保留	計	陽性	疑陽性	陰性	判定保留
男	103	79	1	78	0	79	9	6	64	0
女	42	33	0	33	0	33	3	3	27	0
計	145	112	1	111	0	112	12	9	91	0

表 16-2 性感染症検査 性別・年齢別実施件数 平成 24 年度 (単位：件)

区分	計	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上
男	79	0	22	37	12	4	4
女	33	2	19	10	2	0	0
計	112	2	41	47	14	4	4

(5) 肝炎ウイルス相談事業実施状況 (表 17)

肝炎ウイルスに対する正しい知識の普及及び感染者の早期発見・早期治療を目的に、肝炎ウイルス

相談窓口を設け、検査を希望する場合は肝炎ウイルス検査を実施している。

表 17 肝炎ウイルス相談検査状況 平成 24 年度 (単位：件)

区分	HCV 抗体検査						HBs 抗原検査			相談件数
	計	陰性	中力価及び低力価			高力価	計	陰性	陽性	
			HCV 抗原検査		陽性					
			陰性							
HCV-RNA		陽性								
陰性	陽性									
男	71	71	0	0	0	0	71	71	0	155
女	32	32	0	0	0	0	32	32	0	
計	103	103	0	0	0	0	103	103	0	

(6) 石川県緊急肝炎ウイルス検査事業実施状況 (表 18)

県民の肝炎ウイルス検査の受検機会を拡大し、肝炎の早期発見、治療の推進を図ることを目的

とし、肝炎ウイルス検査を医療機関においても実施している。

表 18 石川県緊急肝炎ウイルス検査状況 平成 24 年度 (単位：件)

区分	HCV 抗体検査						HBs 抗原検査		
	計	陰性	中力価及び低力価			高力価	計	陰性	陽性
			HCV 抗原検査		陽性				
			陰性						
HCV-RNA		陽性							
陰性	陽性								
計	727	722	2	1	0	2	727	722	5

(7) 肝炎対策推進事業

ア 肝炎ウイルス感染者フォローアップ事業

(ア) 目的

肝炎ウイルスは、国内最大級の感染症であり、検査から治療まで継ぎ目のない支援が必要である。このため、診断後間もない肝炎ウイルス感染者が自身の病態を正しく認識し、長期間にわたる経過観察や治療を継続して行えるよう支援した。

(イ) 開催日

平成 24 年 12 月 5 日 (水) 14:30~16:30

(ウ) 参加者

平成 14 年度から 24 年度の市町の肝炎ウイルス検診で感染者と確認された者。

ミニ講話：13 名参加

個別相談：6 名参加

(エ) 内容

- ・ミニ講話「慢性肝炎ウイルス肝炎について」

講師：小松市民病院

副院長 亀田 正二 医師

- ・個別相談

助言者：小松市民病院

副院長 亀田 正二 医師

金沢大学附属病院

特任助教 島上 哲朗 医師

(根拠法令：肝炎対策基本法 第 17 条)

(8) 「世界エイズデー」に係る普及啓発事業

ア 目的

多様な情報が氾濫する中、若者のエイズや性感染症の蔓延を防止し、性に関する正しい知識及び命の大切さについて学びを深めてもらうため、川北中学校 3 年生を対象に講演会を開催した。

イ 内容

- ・日時：平成 24 年 10 月 29 日 (月)

13:20~14:20

- ・講演：「エイズ・性感染症について知ろう」

講師 菜の花助産院

助産師 植田 幸代 氏

- ・対象者：川北中学校 3 年生 48 名

- ・会場：川北中学校